

平成 29 年 4 月 1 日付け人事異動等について

平成 29 年度の佐渡市組織体制につきましては、重点施策の実行にあたり、連携や情報共有の強化、スピード感をもって柔軟に対応できる組織体制を構築するため、本庁組織において、現在の課制を部制に移行する再編を行いました。

主な内容は、現行組織を 5 つのグループにまとめ、人事、税、防災を所掌する「総務部」、企画、財政部門を所掌する「企画財政部」、市民生活、福祉、環境部門を所掌する「市民福祉部」、産業、観光、地域振興部門を所掌する「産業観光部」、建設上下水道を所掌する「建設部」を設置、併せて、業務の統廃合により課、室、係の再編も行いました。

新たな課として、危機防災機能の充実のため総務部に「防災管財課」を、政策企画、行政改革推進のため企画財政部に「企画課」を、子育て支援体制の一元化のため市民福祉部に「子ども若者課」を、農業政策を効果的に展開するために産業観光部に「農業政策課」を設置しました。

また、室・係としては、広報広聴機能の充実のため総務課に「広報戦略室」を、佐渡版地域包括ケアシステムの構築のため高齢福祉課に「地域包括ケア推進室」を、また、補助金や負担金等の適正な執行のために、財政課契約検査室に「補助金等適正化推進係」の設置等を行いました。

これにより、市長部局本庁では、現行の 18 課 11 室 83 係から 5 部 19 課 8 室 77 係となりました。

人事異動については、昨年に引き続き、職員の長期在籍の解消を基本とした配置を行いました。また、課内での事務の効率的及び弾力的運用のため、原則として、1 係 3 人以上とし、必要な係の集約を図り、全部局で 364 人（異動率 31.2%）の人事異動を行いました。

この度の人事異動が、職員の能力・意欲の活性化に繋がり、政策課題の推進と成果につながるよう努めてまいります。